

文化・芸術

名画の扉

大川美術館企画展から

「布には生命がある」
こう語った新井淳一
のテキスタイル作品には、
その言葉通り力強い
生命力を感じます。
「樹根」と名付けられたこの立派なひげをもつ作品は、ウール(羊毛)の縮む力を利用して制作されました。ウールの入ったセーターを洗濯したら、縮んでしまった!という経験がある方は多いのではないか。ウールは、洗濯すると繊維同士が絡み合って縮む「縮絨(しゅくじゅう)」という現象が起ります。大抵の場合、マイナス要素とどうえられるこの現象を、新

(池田)

縮絨フリンジ織物「樹根」

新井淳一 (1932~2017年)
1981年

